

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 経済学部・経済学研究科

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
A	A	A

【評価区分1：部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。 自己評価において、海外の機関との交流協定の締結実績を上げていただいているが、その結果どのようなことが可能になったかなど、具体的な成果を記載いただけるとよりよいと考える。
【業務運営】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 女性教員を教授として採用したことや、部局内の国際交流に関する組織を統合し、業務の効率化を図るとともに、包括的な国際交流活動を推進する業務運営体制を整えたことが評価できる。